

揺れた心 音に乗せ

東京電力福島第一原発事故で、福島県から避難している人は東京都内だけで約六千六百人。中には、子どもの健康影響などを考え、自主的に避難する人も多い。いわき市から二人の娘と避難し、都内に住む歌手のYukari（ゆかり）さん。三十一日、新宿区百人町のネイキッドロフトで、笹木さんが自作曲を披露し、避難者に思いをめぐらせるイベントが開かれる。

（小林由比）

いわきから
避難の歌手 Yukariさん



新宿で31日 自作曲で同じ境遇の人々思う催し

事故への恐怖から都内に避難した笹木さん。だが、支援に頼る生活、慣れない地での育児、自主避難に対する心ない言葉などに心が折れそうになることもあった。そんな笹木さんを救ったのは音楽だった。

福島県ではピアノバターの専属歌手として歌っていた。事故後つづっていた心情などを元に昨年作った曲は支援者らを通じて広がり、笹木さんも各地で歌ってきた。

笹木さんは「気持ち揺れ、同じことをぐるぐると考えてきた三年だった」と振り返る。「同じ避難者でも一人一人状況は違う。イベントでは私にはこういうことがあり、こんな思いだったと、ありのままを伝えたい」と考えている。

イベントは憲法や社会問題を考えるウェブ

サイト「マガジン9」が、毎回テーマごとに開く「マガ9学校」の一環。作家の雨宮処凛さんと被災地でも活動する僧侶の中下大樹さんが、昨年成立した特定秘密保護法を含め震災後の社会のありさまを振り返る。Yukariさんのトークとライブの後、三人で会場

の参加者を交えて語り合う。

前売り二千円、当日二千三百円（飲食費別）。マガジン9のサイトで参加申し込みも受け付けている。問い合わせはネイキッドロフト＝電03（3205）1556へ。